

第18回 兵庫便教会 報告

2017年最初の兵庫便教会を1月21日(土)浜甲子園中学校のトイレをお借りして開催いたしました。いつもご理解いただき、快くお貸しいただくことに感謝です。ありがとうございます。

初めて参加の方2名を含む7名で掃除を行いました。リーダーからは1. 両手を使う 2. しやべらない 3. 比べない の3つを忘れずに、やっていながら様々な気づきをえて欲しいという話がありました。男女2か所のトイレを分担して取り組みました。男子トイレの小便器の汚れが予想外にあり、なかなか取れなかったようです。初参加の方々も随時、教えてもらいながら便器に向かっていました。天気は良かったのですが、冷え込みが厳しく、道具洗いで水の冷たさが身に沁みました。



感想の交流では以下の話がありました。

- ・やりだすと便器に愛着がわいてきて、向き合うことができた。・「両手ですること」ということが心に残った。日常生活でも習慣づけていきたい。・サンドメッシュがなかったが、あるものでできることをした。道具がなくても磨けば光ることがわかった。学校生活でも、できる子、頼みやすい子にばかり目がいき、

そうではない子に何も働きかけていない自分に気づいた。・自分で何もかもするのではなく、「任せる」ことも大切である。・便器のとれなかった汚れが気になる。今まで実践してきた教育でも同じようにやり残してきたことがある。残りの教師生活を充実したものにしたい。・ホコリを払い、汚れを取り除くことで、そのもの本来の姿に戻すのが掃除。自分の心も掃除をすれば本来の自分になる。「我」を取り除くということはそういうことだと思う。

今回も西宮掃除に学ぶ会に道具をお借りしました。感謝申し上げます。ありがとうございました。

(木田重果)